

3 年連続！本市職員が i-都市交流会議で優秀賞を受賞

内閣府は、まちの現状や課題を三次元の地図上に表示する情報基盤の整備「都市構造の可視化」を進め、平成 30 (2018) 年度から全国の自治体向けの研修会や会議を行っています。

今年度、本市職員が都市構造の可視化に関する研修に参加し、1 年間業務に活用した成果を「i-都市交流会議 2022」で発表した結果、3 年連続で本市職員が優秀賞を受賞しました。

1 都市構造の可視化とは

人口分布や販売額、従業者分布をはじめとする統計データを、地図上で高さと色を使って三次元で表示するものです。これにより、都市構造の現状や課題を視覚的・直観的に把握することができます。都市構造可視化の取り組みは、i-都市再生として、内閣府・国土交通省を中心に進められています。

2 発表者・発表内容

- (1) 発表者 都市整備部 都市計画課 主事 新沢 凛しんざわ りん
(2) 発表内容

人口分布の将来推計や建物形状を地図上に三次元で可視化し、立地適正化計画の策定に用いました。また、将来の担い手となる市内中学生・大学生に対して、都市構造可視化ツールを用いて、講義や演習を行った内容などを発表しました。

3 i-都市交流会議 2022 の概要

- (1) 開催日時 令和 4(2022)年 2 月 17 日 (木曜日) ～18 日 (金曜日) (Web 上で開催)
(2) 主催 内閣府 地方創生推進事務局
(3) 協力 国土交通省 都市局・各地方整備局
(4) 参加者 全国の自治体などの職員 34 人
(5) 受賞者 3 人 (上越市、福岡県、柏崎市)